

次なる非開削技術の展望「第2クールから見えるもの」

編集小委員会より



和田 洋
WADA Hiroshi
本誌編集企画小委員長

2003年に編集委員会のもとに小委員会が立ち上がり、機関誌No-Dig Todayが大きく変貌してから、早いもので5年の歳月がたちました。その間に当誌は、非開削技術の新技术について、第1、第2クールまで16回の特集を組み、すべての技術を網羅してきたと思っています。その第2クールも今年の新年号（62号）で終了いたしました。

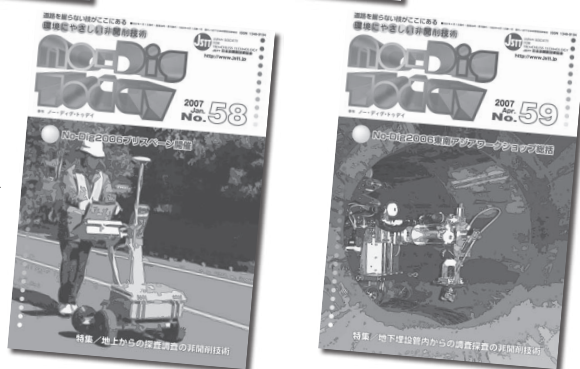
そこで、今号はこれまでの16回の特集を直接担当された編集小委員の方々にこれまでの非開削技術の特集を振り返っていただき、さらに次なる技術の展望について熱き期待を含めて語っていただくことにいたしました。

非開削技術のうち、建設に関わる部分と、そのほかの探査技術および維持管理・補修技術について3つに分けて座談会を進めました。

Part 1 管路建設の非開削技術



Part 2 調査探査の非開削技術



Part 3 更生・改築の非開削技術

